

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

1. 講師 三井記念病院 精神科

部長 中嶋 義文 先生

2. 演題 臨床における直感(heuristics)の功罪

3. 日時 平成29年11月7日(火)18時00分～20時00分

4. 場所 M&Dタワー6階 共用セミナー室11

5. 要旨

本系統講義(2012-)では毎年対人援助専門職の人間的要素(認知・感情・疲弊・葛藤・集団構造・成長)が職業生活(臨床)にいかに関与するかを論じてきた。本年は臨床的直感(heuristics)の功罪について論じる。ノーベル経済学賞を受賞したりチャード・セイラーの仕事などを通して、heuristics を臨床で上手に活用できるようになることを目的とする。



毎年、好評の中嶋先生の今年のテーマは heuristics という非常に魅力的な話題で、会場もあつという間に満員になりました。これまでの5年分のご講義を総括された後に、「認知的節約」「直感」「AI への応用」をキーワードに日常臨床の例を取り上げながら、セイラーとカーネマンの行動経済学の要点を分かりやすくお話し頂きました。

「治療で重要なのは“差し控えること」という非常に示唆に富むお話で、そのためにも「限定合理性」「社会的選好」「自制欠如」といった heuristics の特性を自覚すること、臨床的直感のバイアスを勘案しつつ当事者重視の姿勢で落としどころを探す作業が重要とのことでした。

AI の優れた所は、この作業に human error が入らないことで、人間のようにその日、その時の心理的コンディションの波に左右されずに適切な判断が可能となることだそうです。しかし、そのベースとなる情報に fake が混じると大変危険であるとも警鐘を鳴らしておられました。

少し突っ込んだ質疑応答の後、近隣の某うどん屋さんで楽しく懇親会となりました。中嶋先生、ありがとうございました！



(文責:豊福)